

科目名	国内 インターンシップⅡ	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			国際学科	□ 必修	■ 選択
			学科	□ 必修	□ 選択
英文表記	Domestic Internship Ⅱ	開講年次	□ 1年 □ 2年 ■ 3年 □ 4年		
		開講期間	□ 前期 □ 後期 □ 通年 ■ 集中		
ふりがな	よこた けいざぶろう	実務家教員担当科目	○	修得単位	2単位
担当者名	横田 恵三郎	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	2年次のインターンシップ、卒業生とのキャリア懇談会、企業訪問研修、企業による講演等の経験を踏まえながら、この授業を履修することにより自己の職業適性をより明確に把握することが出来るようになる。また魅力あるバランスの取れた人間性を涵養し、活躍する社会人としての素養を培うことが出来る。				
到達目標	本授業またこれまでのインターンシップや研修、キャリア懇談会を踏まえて、自己の職業適性について明確に把握できる。				
授業概要	当該授業は事前指導・実習・事後指導・報告会・試験で構成されている。これまでの様々な経験と今回の実習経験を併せて、将来の自己のキャリア・プランを明確に描くことが出来ることを目指す。ビジネス・マナーの学修についてはまずは復習から始め、次に難易度を高めた内容にし、ケース・スタディーも行なうことにより、社会人の素養を身に付けることに主眼を置く。実習中は毎日を振り返り、必ず日報として記録に残した上で、事後授業の振り返りの材料とする。				
授業計画					
第1回	事前指導① ・ガイダンス ・過去のインターンシップで 見えた課題と今回の挑戦 ・目標設定	第5回	事後指導① ・インターンシップの振り返り 1		
第2回	事前指導② ・整容 ・ビジネス・マナー1 ・ケース・スタディー I	第6回	事後指導② ・インターンシップの振り返り 2		
第3回	事前指導③ ・ビジネス・マナー2 ・ケース・スタディー2 ・メールのマナー	第7回	合同報告会①		
第4回	事前指導④ ・コンセンサス形成 ・実習中の自己管理 ・メールの内容	第8回	合同報告会②		
	インターンシップ (40 時間以上)	第9回	試験		
授業時間外の 学習	世界の動き、ビジネスや社会の動きなど多方面の情報を収集しておくこと(1.0 時間程度)				
履修条件 受講のルール	身だしなみをきちんと整える意思がない人は実習先に派遣することは出来ません。またアルバイトとは性格を異にするので目的意識をもって臨むこと。受け入れ先との関係から必ずしも興味・関心のある業界・企業での実習が出来るとは限らない。また、事前指導の授業に全て出席した者だけが実習に参加することが出来る。				
テキスト	特に定めない。				
参考文献・資料	適宜、授業の中で配付する。				
成績評価の方法	試験 20%、報告書・報告会での内容 30%、習受け入れ先企業の評価 50% ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。				
オフィスアワー	授業終了後に行います。				
成績評価の基準	秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)				
実務経験を活かした授業内容	航空会社での実務家時代にインターンシップを受け入れた経験があるので企業側の考え方を説明し学生の理解を促したい。				
学生への メッセージ	ごく近い将来、就活が始まることを前提に進むべき業界・業種が明確になるぐらいの気構えで真剣に臨むことを期待しています。				

